

第十一回 最先端医療

イノベーションセンター 定例セミナー

2017.1.10 (火)

18:00~19:00

最先端医療イノベーションセンター棟
1F マルチメディアホール

座長 森下 竜一 寄附講座教授
(臨床遺伝子治療学寄附講座)

「アルツハイマー病の克服に向けて

- 根本的治療法開発への新たな試み -

武田 朱公 寄附講座准教授(臨床遺伝子治療学寄附講座)

「機能性ペプチドの実用化を目指した研究開発」

富岡 英樹 氏(株式会社ファンベップ 取締役 研究開発部長)

株式会社ファンベップは、臨床遺伝子治療学寄附講座及び健康発達医学寄附講座で創出された機能性ペプチドに関わるプラットフォーム技術を用いて、医薬品、医療機器(医療材料)、機能性化粧品等の3つの異なる分野で新製品の開発を行っている。

機能性ペプチドに関わるプラットフォーム技術として、創出された様々な効能を有する機能性ペプチドを市場ニーズに合わせて医薬品、医療機器及び機能性化粧品領域で製品化することを目標としている。

本セミナーでは、高額な抗体医薬の代替あるいは生活習慣病に対して安価で効果のある療法を提供できる抗体誘導ペプチド技術について紹介したい。

社会の急速な高齢化と共に認知症患者の数は増加の一途をたどっている。認知症の原因の半数以上がアルツハイマー病であり、その病態解明と根本的治療法の開発が認知症問題克服の最大の鍵となっている。

本セミナーでは、最近になって明らかになったアルツハイマー病の新たな病態とそれに基づいた革新的治療法の開発に向けた我々の取り組みについて紹介するとともに、超早期診断や発症予防法の確立に向けた研究内容についても概説したい。

お問い合わせ先 最先端医療イノベーションセンター事務室
06-6210-8201 / i-sentaninobe@office.osaka-u.ac.jp